

**RCHR** 第162回サロンde人権

話題提供: 村山 絵美氏

(武蔵大学 人文学部 准教授)

「遺骨の尊厳」が語られる

沖繩の遺骨収集の現場から  
場について考える

無料

11月30日(火)

午後1時30分～午後3時30分

オンライン開催を予定しています。

参加希望者は[otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp](mailto:otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp)に

前日正午までにご連絡ください。

折り返し参加に必要な情報をお知らせします。

なおオンライン参加の困難な事情のある方は  
ご相談ください。

沖縄県内で行われてきた遺骨収集において、「尊厳」という言葉をよく耳にします。「遺骨の尊厳」が守られておらず、それを取り戻さなければいけないという語りです。このことは、必ずしも「死者の尊厳」をめぐる一般命題に回収されるだけではなく、沖縄戦で亡くなった人びとをめぐる固有の状況が反映された語りとして捉える必要があるように思います。本報告では、沖縄における生者と死者との関係について、沖縄県内で実施された遺骨収集をもとに考えたいと思います。